

第6回 神戸アートビレッジセンター地域活性化機能検討会 議事要旨

| 日 時 | 令和3年10月11日(月) 10:00-12:00

| 場 所 | 神戸アートビレッジセンター 会議室1

| 参 加 者 | 服部委員、やなぎ委員、近藤委員、藤坂委員、西島委員、林委員、三上委員、尾堂委員、保科委員、宮道委員、前田委員 (KAVC 柳谷館長代理、林チーフ)

| 議事内容 | ①第5回検討会までの総括および機能見直し方針のまとめ [資料1、2]

②施設名称の改称案検討 [資料3]

③おわりに

| 委員からの意見・提案 |

① 第5回検討会までの総括および機能見直し方針のまとめ

〈事務局〉

- ・第5回検討会について議事要旨を基に振返り。
- ・第5回検討会までの総括を基に、資料に沿って機能見直し方針案について説明。

〈委員など〉

- ・アーティストが入るという事と地域に開くことは別だと思う。
- ・作品を作るアーティストは集中できる環境を求めていると思う。ガラス貼だと集中できないのではないか。
- ・3階の廊下側をガラスにする等による見える化に効果があるのか。
- ・実験イベントにおいて、自習室の利用は低かったが機能としては設置しないのか。図書コーナーの読み聞かせのようにイベントとして寺子屋のような学習支援機能は考えられるのでは。→小学生ぐらいだと自習は自らししないのでは。実施するとしても対象層は考えるべき。
- ・KAVCは施設の規模感的にマスターピースを創る場所ではなく、人がつながる場としてのイメージが強い。ダイナミックなものを創れる大きい場所が別館として海際にあるとさらに良いと感じる。
- ・地域のハブとしての交流拠点的機能とアート機能を兼ね備えた欲張りな場所を目指しても良いのでは。
- ・はっちゃんの台所(1階)には現状ガス設備がなく、実家の飲食店で仕込みをしてから持参している状況のため、リニューアルと併せて整備できないか。
- ・バックヤードは美術品、商品、アーカイブ等のゾーニング分けができるよう、本来それなりの規模が必要。
- ・中に入る勇気がない人のために、外にスケジュール等掲示があると良いのではないか。
- ・駐輪場があると子育て世帯には来場しやすい。

- ・兵庫区では子どもプロジェクトとして参画する事業者を公募している。KAVCの活用を条件として提示し、存在を知ってもらうことも考えられる。
- ・地域に開くことと、特化することの両立の難しさを感じる。子どもと言っても色々世代があるので詳細にターゲットを設定する必要がある。
→周知を強化しながら、子どもが行きやすくする工夫も必要。
- ・今後は周辺との連携についても考えていくべき。
- ・全国的に見て、よくあるものではなく尖った地域を良しとする傾向もある。

② 施設名称の改称案検討

〈事務局〉

- ・KAVCの名称について、リニューアルを機に改称する事も考えており、現状で委員の皆さまおよび周囲の方は何と呼んでいるか教えて頂きたい。
- ・改称するとすればどのような名称が良いと思うかご意見頂きたい。

〈委員など〉

[現在の呼称：委員]

- ・アートビレッジ
- ・かぶっく

[現在の呼称：周囲]

- ・アートビレッジセンター
- ・アートビレッジ
- ・かぶっく (KAVCを読めない人は「かばっく」など間違った呼び方の人もいる。)

[改称案]

- ・そのままが良い。
- ・「新開地」「こども」「未来」などネットでの検索でひっかかるようなキーワードを含めてはどうか。
- ・新開地芸術文化センター
- ・新開地アートセンター
- ・アートビレッジ
- ・アートビレッジ新開地(アートビレッジ神戸)
- ・アートステーション神戸
- ・カブック新開地
- ・神戸新開地芸術広場
- ・神戸新開地アート広場
- ・みんなのアートビレッジ
- ・ATOC(ええとっこ)新開地
- ・新開地チャイランド など

③おわりに

〈事務局〉

これまで6回開催した検討会で頂いたご意見を踏まえ、運営面等についても考慮しながら、令和5年4月のリニューアルオープンに向けて進めていきたいと考えている。検討会は今回で最終回となるが、まちとのつながりをより強めることで施設を有効に活用していきたいと考えているので、今後ともぜひご協力頂きたい。